

人への伝え方～協働による野生生物対策～ 募集要項

野生生物と人との軋轢は、獣害問題、外来種問題、生息地悪化の問題など多岐に及んでおり、解決すべき問題は今後も多様化していく可能性があります。さらに、軋轢が起こっている地域や種、そこに暮らす地域性などが異なることから、問題解決のためのマニュアルを作ることには困難です。そのため、その地域の住民や行政、企業、研究教育機関などがそれぞれの立場から問題に取り組み、複合的な視点から解決策を検討していくことが今後より必要になると思われます。

しかし、ステークホルダーが増えることにより意見の調整や方針の統一が困難になるだけでなく、情報の間違った伝達や誤解を与える発言によって問題解決が円滑に進まないといった問題が生じる恐れがあることから、自分の意見を相手に適切に伝え、正確な情報や考え方を理解してもらえかが重要な観点となります。

帯広畜産大学農業共生圏高度専門家育成事業では、協働による野生生物と人との軋轢の軽減、解消を推進することを目的に、野生生物対策をテーマに「人に伝える」重要性とその事例について講習会を開催します。

なお、この講習会は、帯広畜産大学の学生も受講を予定しています。受講生の皆様と共に学ぶことで、学生の就職観の醸成と関連業態への理解がより深まることを期待しています。

このような人が対象です

- ・ 獣害や外来種問題を地域住民に取り組んでもらいたいと考えている行政職員
(農林課・環境生活課等の担当者、学芸員、動物園・博物館スタッフなど)
- ・ 調査目的や保全対策手法などを的確に発注者などに伝えたいと悩んでいる企業職員
- ・ そのほか、野生生物問題で「伝える」ことに悩んでいる人

1. 開催日：令和元年12月11日（水）
2. 開催場所：総合研究棟 I 号館 E2503室
3. 募集人数：20名（先着）※学生は5名
4. 講師：一般社団法人 daidai 齊藤ももこ氏
講師詳細は別紙をご参照ください。
5. 開催内容：

| | |
|-------------|---------------------------|
| 13:00 | 受付開始 |
| 13:30～14:00 | 開講、アイスブレイク |
| 14:00～14:30 | 講義 「獣害から獣財へ」住民が主体となった被害対策 |

講師が対馬で実施している鳥獣被害対策のコンサルティング業務について、住民による自発的、自立的な対策を支援する中で、実際に直面した課題とそこを乗り越える際の「伝え方・伝えること」の重要性について事例を交えてご紹介いたします。

14:40～16:30 ワークショップ

「地域住民がやる気になる・やりたくなる被害対策の進め方」

① やる気をおこす伝え方

② 行動につながる伝え方

をテーマにグループでワークショップを行ないます。

16:30

閉講

19:00

情報交換会

6. CPD 認定： 希望される方には一般社団法人建設コンサルタンツ協会 CPD 認定プログラム受講証明書を発行します。

7. 受講料： 無料

※情報交換会に参加される方は別途参加費をいただきます。

8. 申込方法： 本要項に記載のある二次元バーコードもしくは下記URLの申し込みフォームからお申込み下さい。

URL : <https://forms.gle/Q1kCDpWwd6QW9sCd7>

申し込みフォームからのお申込みができない場合、受講申込書を事務局までメールでお送りください。



9. 募集期間： 令和元年10月15日（火）～令和元年11月15日（金）

10. 事務局：帯広畜産大学 国際・地域連携課

電話：0155-49-5776/5348 メール：syogai@obihiro.ac.jp

【個人情報の取扱いについて】

- (1) 国立大学法人帯広畜産大学が保有する個人情報は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」等の法令を遵守するとともに、「国立大学法人帯広畜産大学保有個人情報管理規程」に基づき、保護に万全を期しています。
- (2) 応募時にお知らせいただいた氏名、住所等の個人情報については、受講者選抜、受講に関する連絡等の業務を行うためにのみ利用します。



講師：一般社団法人daidai代表理事／里山獣医 齊藤ももこ

日本大学獣医学科卒業後、2013年に地域おこし協力隊として長崎県対馬市に移住。2016年に一般社団法人daidaiを設立。
「獣害から獣財へ」をキーワードに、イノシシやシカの鳥獣害対策、肉や革などの資源活用を通じた普及啓発活動に取り組む。

一般社団法人daidai

イノシシ・シカと聞くと「被害」や「害獣」といった言葉を連想しがちですが、「害」と捉えて心が動く人は多くありません。イノシシやシカも地域の「財」と捉え、

肉や革などの資源に変え、「獣害から獣財へ」をキーワードに、野生動物たちの命をポジティブな循環へ導くことで、多くの人とのつながりを生み出します。



鳥獣被害対策

- 被害対策のコンサルティング
- 被害対策に関する研修開催
- 被害調査・現地指導



普及啓発・教育活動

- 総合的な学習の時間における鳥獣被害対策の授業
- 総合的な学習の時間における地域資源の活用に関する授業



その他（ジビエ・レザークラフト）

- 野生鳥獣の食肉処理、食肉製品製造に関する事業化支援、食肉・加工品販売
- イノシシ、シカのレザークラフト講座
商品製造・販売

